

# 六小・富士便り

開校55周年

国立市立国立第六小学校

校長室便りNo.1

令和7年(2025年)4月22日

## 令和7年度の取組がスタートしています！

4月下旬へと時が移ってきて、寒暖差の大きな日が多くなっているところですが、体調の方はいかがでしょうか。そろそろ大人も子どもも疲れが出てくる頃のように思います。頑張りすぎないように頑張り、体調管理にお気を付けてお過ごしください。



さて、この4月よりお世話になっております、校長の<sup>こばた</sup>小畑<sup>ゆきひろ</sup>行広です。

保護者会でお伝えしていた通りに、校長室便りとして、【六小・富士便り】を配信いたします。

内容としては、学校の様々な様子や取組、お知らせしたいこと、また、校長としての私自身のことも含め、多種多様な方向からお伝えしたいと思います。

できるだけ簡単に、分かりやすくお伝えする予定です。ご理解とご協力をお願いします。定期的には、なかなか難しいところですので、月に1～2回程度で不定期といたします。

## 4月16日(水)に、1年生を迎える会を行いました。

六小に入学をした1年生が、全校児童と対面をする【1年生を迎える会】を行いました。2年生から6年生のお兄さんやお姉さんが、1年生にどんなふうに関わるかを、学年全員で声掛けしました。1年生の皆さんが安心して学校生活を送れるように、優しい声で、優しい顔で向き合っていました。その様子からは、全校児童の温かい心が伝わり、1年生を迎える会がより温かい空気に包まれました。



最後に校歌を歌いましたが、私も温かいその子供たちの関わりの様子から、とても嬉しくなり、子供たちの前に立って校歌の指揮(昔、合唱指揮者でした)をして、全体で合唱しました。手話をしながら、歌う子供たちもいて、六小らしい元気で頑張っている子供たちの姿がありました。

1年生も、この日から本格的に六小の仲間入りをしました。

## 1年生のスタートカリキュラムが行われています。

本校の1年生は、小学校という新しい環境に慣れ、自分の居場所を見つけていく大切な時間を過ごしています。1年生の最初の週は、子供たちの住む4つの地域に分かれたグループで生活をし、安心できる環境の中で、小学校の生活に慣れるようにしています。この部分においては、同じ地域に住んでいることから、保護者の方の安心も考えているところです。

この取組は、各校で取り組む内容が違いますが、【スタートカリキュラム】と呼んでいます。短縮して「スタカリ」と呼ぶことが多いところです。



第2週の4月16日（水）からは、4つのグループを2つのグループにして、新しい友達との関わりを増やしました。今週の4月21日の月曜日からは給食も始まりました。学校生活を段階的に経験し、連休明けの5月7日（水）からは、これまでの子供たちの様子を基に2つの学級に編成をして、本来の形である本格的な学校生活に入ります。

1年生の皆さんが楽しみながら、小学校という新しい環境に慣れ、小学生としての成長を図るための取組としています。本校に入学をする子供たちや保護者の皆様が、安心して小学校生活の1年目を過ごすことができるように、スタカリの充実をこれからも図っていききたいと思います。

### 令和8年2月に「笑顔寄席」を開催します！



コロナ禍の中で実施されてきた、体験型子供たちを元気にする笑顔と学びのプロジェクトという東京都主催の取組があります。国立第七小でも「笑顔寄席」として実施しましたが、六小でも実施したいと思います。一流の芸能文化に触れたり出演者の方と体験したりして、楽しみながらも学びの時間となります。詳細については、また、改めてお知らせします。乞うご期待を！



### 【校長のつぶやき】

国立第六小に来てから、あっという間に4月も後半を迎え、環境の変化に戸惑いもありますが、子供たちの「校長先生」という声や手を振ってくれる姿に元気をもらっている毎日です。

国立市とのご縁は、教員採用試験に合格をし、後に面接を受けた市として1番目のところでした。今から、もう34年も前となります。当時は、残念ながら面接に受かりませんでした。今はこうやって国立市の教員として5年目の年を迎えています。

同じ市内でも、これまでお世話になった第七小とは、やはり違います。校舎は、七小は4階建て、六小は3階建てです。体育館も七小は、校舎と隣接していますが、六小は、渡り廊下があって、外の景色が目に入ります。そして、校庭も七小よりも広く、何ととっても敷地内に矢川が流れています。七小においても、矢川を自然の教材として学習していましたが、六小は、子供たちにとって学びの場だけでなく、遊び場でもあることは、とても恵まれていると思いました。

子供たちにとって、この六小の広々とした環境と自然は、小学校生活を過ごしていく上でも、とても大切で、大事にしていきたいと思えるものです。

コミュニティスクールとしてスタートした六小で、子供たちと保護者の皆様、地域の皆様と様々な連携をして、この六小にある貴重な環境を活かした取組を模索し、検討し、実践していきたいと思っています。様々にお世話になりますが、これから、どうぞ、よろしくお願いいたします。